

# 育む

はぐくむ

公益財団法人 北海道青少年育成協会 機関誌

令和4年(2022)  
9月発行

# No.29

公益財団法人北海道青少年育成協会

北海道の次代を担う青少年の健全な育成に寄与することを目的としています。



夏休みの“ラジオ体操”にほーほーくんがサプライズ登場  
(裏表紙参照)

## Contents

### ●開催報告

- 令和4年度 北海道青少年育成大会 ..... 2
- 令和4年度 「少年の主張」全道大会 ..... 3
- 令和4年度 青少年育成地域懇話会(恵庭市) ..... 4

### ●「北海道青少年のための200冊」 ..... 5

### ●地域活動紹介など

- 青少年育成に関する市民組織の活動(新冠町・江差町・釧路町) ..... 6

### ●北海道青少年基金

- 令和4年度 運用益交付団体・顕彰団体 ..... 7

### ●その他

- 「道民家庭の日」関連事業／賛助会員の募集 ..... 8

# 開催報告

令和4年度 北海道青少年育成大会（「少年の主張」全道大会）  
2022年9月2日（金） 北海道立道民活動センター（かでの2・7）／札幌市

3年ぶりの通常開催、全道から約200名の関係者が集う

令和元年度以来、3年ぶりの通常開催となった今大会には、全道から約200名の青少年育成関係者が集いました。

午前中は、青少年の育成に功績のあった方々の表彰式や、「少年の主張」全道大会で最優秀賞等を受賞した3名の中学生の発表、名寄市の団体による事例発表がありました。午後は、尾花 紀子氏（ネット教育アナリスト）による基調講演の後、札幌緑小学校スクールバンドによる演奏で大会を締めくくりました。



## 北海道社会貢献賞、北海道青少年基金事業顕彰の表彰式

長年に渡り、青少年の健全育成活動に尽力された9名の方々に、北海道の森環境生活部長から北海道社会貢献賞が贈られました。続いて、当協会の竹谷会長から、優れた活動を展開している青少年団体の功績を讃える北海道青少年基金事業顕彰が、『特定非営利活動法人E-LINK（札幌市）』に贈られました。（7ページ参照）

## 事例発表 — 名寄駅前コミュニティスペース「naniroBASE&Lab.」の活動を紹介 — 青少年の活動発表 — 札幌緑小学校スクールバンドの小さな演奏家達が、迫力ある演奏を披露 —

名寄市の駅前商店街で、コミュニティスペースを運営する黒井理恵副所長から、活動内容の発表がありました。「何かをしたい」大人や名寄市立大学生が集まり、アイデアとチャレンジが交錯する、街の新たな社交場が生まれています。

最後は道内屈指の小学生プラスバンド、札幌市立札幌緑小学校スクールバンドの児童約40名が演奏を披露。会場は笑顔と熱気に包まれました。



## 基調講演

演題「令和の超デジタル社会を生きる子どもたちのために  
学びに趣味にコミュニケーションに…まずは現状を知り、出来ることを考えよう！」

ネット教育アナリスト **おばな のりこ 尾花 紀子 氏**



### デジタル社会の現状

最近、「現金支払い」から「電子マネー決済」へ、役所やお店・病院等でもインターネット予約が広がるというように、身近な生活の中で変化が見られます。教育現場でも、プログラミング授業の開始や学習用GIGA端末の使用、授業や面接のオンライン化など、デジタル化の波がコロナ禍で加速されて押し寄せ、子ども達を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。

### 人の特性とネットの特性

“人”には、自分に都合の悪い情報を無視したり過小評価すること、自分の思い込みを肯定するために都合の良い情報ばかり集めてしまう傾向があります。また、普段使っているスマホの情報は、よく見るニュースや検索ワードによって「あなた好み」にカスタマイズされており、それ以外の情報がはじかれてしまうという“ネット”の特性も認識しておく必要があります。

### 情報を正しく見極めるために

ネット上には、わざと一部のみを切り取った作弄的な情報もあります。すぐに鵜呑みせずに「他の情報と比べる」「情報の

発信元を確かめる」「情報はいつ頃のものかを確かめる」「一次情報を確かめる」など、冷静に事実確認することを身につける必要があります。勢いで投稿・拡散したりすることはとても危険です。

### “コントロールする力”を身につけてネットを安全に利用するためのルールづくり

ネットを子ども達のコミュニケーションの道具として使わせるならば、まず大人が寄り添って一緒に使うことで学ばせましょう。その中で、言葉や画像が本当の姿とは限らず、ネットでは相手の真実が見えないことを意識させることが大切です。

「コントロールする力」を身につけた大人になるためには、利用のルールづくりと相談しやすい環境づくりがポイントです。事情も聞かずに怒ったり、勝手に決めたりせず、大人の都合は後回しにして、話し合い調整しながら子ども達の安全を脅かさないルールづくりを進めましょう。

インターネットは誕生以来実験中です。常に「意識しながら」「判断しながら」使いましょう。

# 令和4年度「少年の主張」全道大会

社会に向けての意見や未来への希望を堂々と発表

1979年(昭和54年)の国際児童年を記念して始まった「少年の主張」全道大会。新型コロナウイルス感染症の影響により、2年度は中止、昨年度はWEB開催だったため、会場での発表は3年ぶりとなりました。今年は道内301校から2万6千人の応募があり、各地区大会を経て、16名が全道大会に進みました。ビデオ審査による厳正な審査の結果、石狩地区代表の金美怜さん(江別市立大麻東中学校3年)が最優秀賞となり、北海道代表として北海道・東北ブロックに選出されました。



「少年の主張」全道大会  
発表者のみなさん

## 受賞者のみなさん

### 最優秀賞(北海道知事賞)

金美怜さん(石狩) 江別市立大麻東中学校3年  
「込められた意味」

### 優秀賞(北海道教育委員会教育長賞)

藤浪あいさん(根室) 中標津町立中標津中学校3年  
「カミングアウト」

### 奨励賞

※振興局順

福原未桜さん(後志) 田邊惺菜さん(渡島)  
仁木町立銀山中 3年 函館市立赤川中 3年  
田畑妃穂さん(胆振) 藤川才子さん(上川)  
むかわ町立鷺川中 3年 名寄市立名寄中 3年  
嶋田桃花さん(日高) 佐藤雪奈さん(留萌)  
新ひだか町立三石中3年 羽幌町立羽幌中 3年

### 優秀賞(北海道PTA連合会会長賞)

細畑綾香さん(檜山) 厚沢部町立厚沢部中学校3年  
「『戦争を知る』とは」

### 優秀賞((公財)北海道青少年育成協会会長賞)

岸楓珂さん(空知) 長沼町立長沼中学校3年  
「世界へ届け 私の一步 一個性の違いを認め合おう」

久保花稟さん(宗谷) 武藤楓真さん(釧路)  
礼文町立香深中 2年 浜中町立浜中中 3年  
吉田百花さん(オホーツク) 五島一響さん(札幌市)  
美幌町立北中 3年 札幌市立北栄中 3年  
小島唯さん(十勝) 佐々木翠優さん(札幌市)  
大樹町立大樹中 3年 札幌市立藤野中 2年

## 最優秀賞 (北海道知事賞)

## 「込められた意味」

## 江別市立大麻東中学校3年

金美怜さん



あなたは、「人と違う」ことを恥ずかしいと感じたことはありますか。あなたにとって「普通」とは何だと思いますか。

私の父は韓国人で、俗に言う「在日韓国人」です。私の「金」という苗字も、父のものです。

この苗字を聞いた時、多くの人は、物珍しそうな目で私を見ます。そして、何かを悟ったような顔をします。私は、それを見るたびに、うんざりしました。区別されている気分で、居心地が悪かったからです。

小学生の頃は、苗字をいじられることも多く、基本、笑って返していましたが、やはりいい気分ではありませんでした。友達には悪意がないことを分かっている回数を重ねるごとに、「私は人と違う」「私は普通じゃない」という思いが強くなっていきました。

こうしたことが度重なり、いつからか私は自分の苗字が嫌いになりました。自分で名乗ることも、誰かに呼ばれることも、全てが嫌で仕方ありませんでした。

もちろん、親に話すことなど出来ませんでした。話せば、悲しい顔をさせてしまう、困らせてしまう、と分かっていたからです。

親には言わない、そう決めていたつもりでした。ですが、ある時、母に本音をぶつけてしまいました。

「皆は普通の苗字なのに、どうして私は普通じゃないの?何で私だけいじられなきゃいけないの?こんな苗字なんか、嫌いだし!」

言い過ぎたと思った時には、もう手遅れでした。母は、悲しそうな、困ったような顔をしました。

「そんな顔をさせたかった訳じゃないのに」私はすぐに後悔しました。その反面、私の中には、明確な答えが返って来なかったことに対するモヤモヤした気持ちが残りました。

何も変わらないまま、ただ時が過ぎて、私が中学生になってしばらくした、冬頃でした。父が、ニュースを見て、

「この人、在日じゃないかな。」と呟きました。疑問に思い、父に聞いてみました。

「どうして苗字を変える人が多いの?」  
父は、少し顔を曇らせてから、話し始めました。

「昔は、今よりも差別が酷かったんだ。その名残みたいなものかな。隠

すためだよ。」

父の口から、このことを聞いたのは初めてでした。そして、私に、父が中学二年生の時に書いた生活体験文を見せてくれました。

読み終えた時には、涙が頬を伝っていました。あまりにも残酷で衝撃的過ぎる内容を受け止めきれませんでした。所々違う送り仮名や決して上手じゃない表現も、今は私の涙を誘うだけでした。この時、初めて知りました。差別やいじめに耐えられず、叔父が自殺しようとしたこと。父が日本に来てから苦勞した数え切れない程、沢山のこと。これまでの父を思うと、涙は止まりませんでした。

父は淡々と話しました。  
「俺は、苗字を変える必要なんてないと思ってる。悪いことじゃないんだから。これから先、この苗字で嫌な思いをすることもあるかもしれない。それでも、堂々と生きなさい。」

初めて苗字に隠された父の思いを知りました。解消されることのなかった私の心の中のモヤモヤは、その言葉で消えました。

苗字を変えるか、変えないか。この選択に正解はないと思います。ただ、一つだけ言えるのは父がこの選択をしてくれて、良かったということです。私は、それ以来、隠すことをやめ、父の望む堂々とした生き方をしたい、と思えるようになりました。

父のおかげで、私には他の人よりも広いルーツがあるのです。それは、何にも代えられない、私の宝物です。

そして、同じような立場の人が生きやすい世の中になってほしいな、と思います。「人と違うことは何も悪いことじゃない」と、誰もが言える世の中であってほしい。そう強く願います。私自身、違いを排除するのではなく、理解し、寄り添おうとする生き方をしていくつもりです。

皆さんも「人と違う」ことをマイナスに捉えるのではなく、プラスに捉えてみてください。

違うことを気に病んだりせず、自分だけがもつ、「かけがえのない一面」と考えてみませんか。きっと視界が広がって、いろいろな思いを知ることが出来ると思います。

私の思いが少しでも多くの人に伝わると嬉しいです。

# 令和4年度 青少年育成地域懇話会 in 恵庭市

当協会では、地域の青少年育成市町村民会議等と共催で、有識者と地域の青少年育成関係者が意見交換等を行う「青少年育成地域懇話会」を、毎年2か所で開催しています。

今回は、8月に開催した恵庭市の懇話会の概要を報告します。

## テーマ 「ネット社会に生きる恵庭の子ども達を育むために」

日時／令和4年8月26日（金） 場所／恵庭市民会館3階中ホール  
共催／恵庭市青少年育成市民の会 後援／恵庭市教育委員会



### 講話「子どものSNSやインターネットの問題を考える～大人は何をすべきか～」

講師 北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科 教授 <sup>いいだ あきひと</sup> 飯田 昭人 氏

#### 概要

北翔大学教授の飯田昭人氏から、現在の子もたちとSNSの関係を踏まえ、私たち大人が心がけておきたいことについてお話しいただきました。

今、SNSは子ども達の生活に身近なもので、一部の子ども達には欠かせない「居場所」になっており、SNSなどのネットにおける人間関係も尊重することが大切であること。そして、家庭・家族を「第一の居場所」、学校などを「第二の居場所」、町内会など地域社会全般を「第三の居場所」と考え、それぞれで、子どもも大人もインターネットの情報や事象を正しく理解し、適切に使える能力を養うことが必要と指摘がありました。

その上で、私たち大人が心がけたいこととして、“自分のことをわかってほしい相手に対して、自分もその相手をわかってほしいのが人間”との考えに立ち、子ども達にSNSの利用を規制するより、対話を通して、粘り強く一緒に使用時間や使用方法などを考えていくことが理想であり、大人が「対話」を通して、子ども達と「つながり」を構築し続けていく努力と覚悟が必要だと結ばれました。



### 参加者による意見交流 テーマ「大人が子どもと向き合うために必要な知識や情報とは？」

講話の後、42名の参加者がグループに分かれ、北海道教育庁石狩教育局の小田島美雪社会教育主事の進行で意見交流が行われました。交流後には、グループの代表から、「核家族化や近所付き合いの希薄化でコミュニケーションが不足している。『対話』の重要性を感じた。」「日常的なコミュニケーションで時間を共有することが大事。SNSも家族で上手に使うことも有用ではないか。」「SNSを理解するために大人も積極的に使ってはどうか。ネットリテラシー教育には、PTAや地域も巻き込んで取り組むことが必要」などの意見が紹介されました。



意見交流会での活発な議論



グループの代表からの意見紹介

最後に、会場から寄せられた講演の感想や質問などについて飯田講師から丁寧なコメントをいただき、子ども達を支える様々な立場の参加者が一緒に話し、考える貴重な機会となった地域懇話会となりました。

# 「北海道青少年のための200冊」

—よい本で 美しい心 強い心—



## 今年の新選図書は、46冊

青少年が、「美しいものに感動する心」「自分の頭でものを考える態度」を養うためには、よい本に接する機会が大切です。

当協会では、北海道学校図書館協会と北海道読書推進運動協議会の協力をいただきながら、毎年「北海道青少年のための200冊」を選定しています。今年度は、新たに46冊を選定しましたので、その一部を紹介します。

幼児の部		小1の部		小2の部	小4の部	
4ひきのちいさいおかみ 徳間書店	しりとり 福音館書店	きみとぼくがつくるもの ほるぷ出版	さくららら アリス館	すみれちゃんとうかいばあちゃん 新日本出版社	クマが出た! 助けて ペアドッグ 岩崎書店	命を救う心を救う 佼成出版社
小5の部	小6の部	中学生の部			高校生・青年の部	
五七五 ぼくのとたりはブラジル人 文研出版	黄色い星 BL出版	チェスターとガス 小峰書店	あしたの幸福 理論社	ミカンの味 朝日新聞出版	挑発する少女小説 河出書房新社	ソ連兵へ差し出された娘たち 集英社
		廃炉 新潮社				廃炉 新潮社

## 「こどもの本ブックフェア ほんのおまつり2022」(札幌会場)に出展

株式会社トーハンでは、国連の国際児童年(1979年)を契機に、子どもの読書推進活動の具体策としてより良い読書環境の場を提供したいとの願いを含め、児童書イベント「こどもの本ブックフェア」を開催しています。

今年は、3年ぶりに全国3カ所(岡山市・京都市・札幌市)で開催され、札幌では、8月7日(日)から9日(火)の3日間、「デ・アウネさっぽろ」で開かれました。

児童書を中心に、保育・教育書・中高生向け図書など5万冊を集めた国内最大規模の本の展示会で、企画別におすすめの優良図書が紹介され、本はその場で購入できるほか、よみきかせ会や不用となった絵本の表紙でエコバックを作るワークショップなど、参加型の多彩なイベントが行われました。

当協会は、展示ブースの1つで「北海道青少年のための200冊」の取り組みなどを紹介しました。



### 「こどもの本ブックフェア ほんのおまつり2022」開催内容

- 展示** 絵本、よみもの、児童図書、外国の絵本、紙芝居、学校教育、家庭教育、特別支援教育、YA図書 等 350社、2万点、5万冊
- 催事** 「よみきかせ絵本」～よみきかせに人気の絵本を紹介  
「各種課題図書、推薦図書」・「北海道指定図書」・  
「北海道青少年のための200冊」・  
「夏休みの自由研究コーナー」等々多数
- 特別催事** 絵本作家によるワークショップイベント  
・読み聞かせ会  
・野菜スタンプをつくろう  
・手づくりおもちゃをつくろう

〔当協会ブース〕



## 地域活動 紹介

# 青少年育成に関する市民組織の活動

道内には、青少年育成市町村民会議など、青少年育成に関する活動や協議を中心的に担う組織が149市町村に設立されており、地域の実態に応じた様々な活動が行われています。

今回は、新冠町、江差町、釧路町の活動について紹介します。

## 子どもを守る安心・安全な通学路～子ども110番マップの作成

新冠町青少年健全育成委員会（設立 平成13年）

新冠町では、近年、不審者の目撃情報が相次ぎ、関係者の話し合いでも通学路の安全対策を求める声が上がっていました。学校からも「子どもたちが登下校時に不審者等に遭遇した際に、付近の店舗や公共施設に一時的な避難所としての協力を求めたい。」と要請があったことから、当委員会では令和元年から町内事業所等に「子ども110番」を依頼し、「子ども110番マップ」や「子ども110番ステッカー」を作成・配布して不審者への対応を行っています。

また、学校で「不審者に声をかけられたらどうするか」を子どもたちに指導することに併せて、学校や子ども110番事業所、当委員会の三者が連携して対応することで、子どもの安全・安心を守る活動を行っています。

〔子どもが避難してきた際の対応〕

- ①子どもが落ち着くように声かけし、状況を聞いて学校等へ連絡
- ②ケース（子どもに危害が加えられたなど）によっては警察にも連絡
- ③学校又は保護者が迎えに来るまで保護
- ④子どもの避難所と分かるようステッカーの掲示



子ども110番マップ

## みんなで育てる「え・さ・しっ子運動」

江差町青少年健全育成会議（設立 平成12年）

青少年の健全な育成を図るためには、学校、家庭、地域が、それぞれが持つ教育力を活かしながら取り組む必要があります。

町内のPTA、自治会、関係団体等で組織する江差町青少年健全育成会議は、「豊かな人間性をはぐくみ、心身ともに健やかに成長することとともに、社会との関わりを自覚しながら次代の社会の担い手として自立すること」を基本理念に、次の運動スローガンが地域に定着することを目指して「みんなで育てる『えさしっ子運動』」を展開しています。

- 《え》笑顔であいさつ、いい気分
- 《さ》さわやか習慣 早寝早起き朝ごはん
- 《し》しっかり守る ゲームとスマホの時間とルール

具体的には、地域や家庭教育サポート企業と連携したあいさつ運動や子どもの見守り活動を推進するほか、夏・冬休みに生活リズムチェックシートを町内の小中学生に配布して、生活習慣の見直しや家庭学習の習慣化に取り組んでいます。

また、標語コンクールを開催し、入選作品を江差町文化祭や各学校、公共施設、家庭教育サポート企業で掲示・紹介することにより、まち全体で子どもたちを育てる意識の醸成に努めています。



標語コンクールポスター

## ふれあい花壇造成作業～小中高生のボランティア活動

釧路町青少年育成協会（設立 昭和55年）

釧路町青少年育成協会は、別保・遠矢・昆布森及びセチリの町内4地区の青少年健全育成運動推進協議会が相互に連携・協働して環境美化や育成活動を進め、明るく豊かな釧路町を築くことに取り組んでいます。

先日セチリ地区で行われたふれあい花壇造成作業の様子を紹介します。

富原小・中学校・釧路東高校の児童生徒、保護者や地域の皆さん約200名が参加した大きな活動になりました。

土を起し雑草を取ってきれいにした花壇に、3列に間隔を揃えて花の位置を決めていきます。次に、土に穴を開けて、一つまみの肥料を入れた後に優しく苗を植えていき、1時間半程度で富原小学校横の道路沿いに花壇が完成しました。

高校生が小学生・中学生と協力しながら丁寧に作業を進めたり、小学生や幼児が高校生に見守られながら作業する様子は、和気あいあいとして楽しそうでした。

別保・遠矢・昆布森の各地区でも、花壇造成やゴミ拾い、あいさつ運動など地域の実情に応じて子どもたちの健全育成を目指した活動が行われています。

また、育成協会事業としては、地区と連携しながら町全体規模の事業を行っています。

- 町民下の句かるた大会
- 道教委リーダー研修派遣
- 夏休みリーダー研修
- 校区を越えた地域間体験交流事業
- 小中高生のボランティア活動 etc



児童生徒や地域の皆さんによる花壇造成作業

## 令和4年度 運用益交付団体・顕彰団体

北海道青少年基金は、昭和53年に北海道110年記念事業の一環として創設されました。この基金から生じた運用益は青少年の主体的な社会参加活動に活用され、これまで2,191団体に対し2億1千万円を助成するとともに、146の団体・個人の顕彰を行ってまいりました。令和4年度の交付団体・顕彰団体は次のとおりです。

### ●交付団体（交付額：各団体 75,000円）

番号	区域	市町村	団体名	事業別	事業内容	
1	空知	深川市	NPO法人深川市舞台芸術交流協会	交流・体験	子どもまつり	
2		南幌町	南幌町子ども会育成連絡協議会	交流・体験	冬の宿泊研修（1泊2日）	
3	札幌市		上手稲コンドル野球スポーツ少年団	文化・スポーツ	野球による青少年健全育成	
4			宮の丘サッカースポーツ少年団	文化・スポーツ	サッカーによる青少年健全育成	
5			石山アトムズ少年団	文化・スポーツ	学童軟式野球活動	
6			札幌オールブラックス	文化・スポーツ	学童少年野球	
7	石狩		野幌ファイターズスポーツ少年団	文化・スポーツ	野球・奉仕活動	
8			野幌地区青少年育成協議会	交流・体験	令和4年度「小中学生 作文・意見発表会」の開催	
9		江別市		えべつあそび場創造プロジェクト	交流・体験	あそび場を増やす
10				ボーイスカウト江別第2団	交流・体験	日高冬期舎営（2泊3日）
11				江別東剣道スポーツ少年団	文化・スポーツ	剣道・文化活動
12	石狩管内広域		江別市スポーツ少年団	交流・体験	スポーツ少年団ジュニアリーダースクール	
13	後志	小樽市	塩谷地区子どものすこやかな成長を願う会	交流・体験	子ども達と歩む地域盛り上げ運動（地域パトロール、ボランティア活動）	
14		真狩村	真狩バレーボール少年団	文化・スポーツ	バレーボールスポーツ少年団	
15	胆振	苫小牧市	飛翔スワローズ育成会	文化・スポーツ	軟式野球活動	
16			苫小牧アミーゴ澄川	文化・スポーツ	サッカースポーツ活動	
17		豊浦町	豊浦ジュニアチアリーディングクラブDaisies	文化・スポーツ	チアリーディング活動	
18	渡島	函館市	函館こども劇場	文化・スポーツ	舞台芸術の鑑賞例会・企画・運営	
19	上川	旭川市	旭川市連合子ども会	交流・体験	子ども会リーダー研修会（1泊2日）	
20		鷹栖町	鷹栖剣道少年団（後援会）	文化・スポーツ	剣道少年団	
21	ホーッ	美幌町	美幌町青年団体活動B-live	その他	美幌町の活性化 ワークショップの講義・実習 他	
22	オホーツク管内広域		一般社団法人北海道フロアボール普及プロジェクト	文化・スポーツ	フロアボール普及プロジェクト	
23	十勝	大樹町	大樹町青少年健全育成推進町民の会	交流・体験	こども110番の家ウォークラリーによる防犯意識の高揚	
24	釧路	釧路市	特定非営利活動法人 釧路リベラルティ	文化・スポーツ	サッカー活動（キッズサッカーフェスティバル）	
25	釧路管内広域		くしろエコ・フェア2022	交流・体験	パネル展示・SDGs関わったポスターの展示と表彰	
26	根室	別海町	別海町子ども会育成連絡協議会	交流・体験	地域振興・まちづくり活動・自然体験活動・交流事業	
27	全道		留萌HEROs少年野球協会	文化・スポーツ	青少年育成事業（少年野球）	

- 交流・体験活動事業～交流事業、体験活動
- 文化・スポーツ活動事業～伝統芸能継承、読書推進、スポーツ活動等
- その他～青年達によるまちづくり等

### ●顕彰団体

#### イーリンク NPO法人 E-LINK（札幌市）

E-LINKは、2017年に小学生向けの放課後学童保育「アドベンチャースクールクラブ札幌」を開設し、その後、2019年に学校へ通えない小中学生のためのフリースクールを設置、NPO法人E-LINKとして活動を開始しました。

子どもも大人も地域も「なまら、ツナガル」をミッションに掲げ、都会の中の小さな田舎「トカイナカ」のようなコミュニティづくりを目指し、札幌市の二条市場を中心とした創成東エリアで活動しています。

現在は、未就学児の親子が楽しく過ごす親子交流事業に加え、地域のお寺を会場に学生が運営する「寺子屋事業」、地域食堂など、子どもを中心に大人や地域がツナガル活動を幅広く展開し、地域にも必要とされる居場所として発展しています。

今後は、まだ活動が届いていない人・地域に活動を届け、本当の意味での「トカイナカ」のコミュニティをつくることを課題とし周知活動に力を入れ、さらには、この活動がモデルとなって別の地域に広がることを目指して活動に取り組んでいます。



地域食堂



二条市場でお散歩

## 「道民家庭の日」 関連事業

# ほーほーくんが「道民家庭の日」啓発活動に奮闘!!

コロナ禍で登場する機会が少なくなっていたほーほーくんですが、今年は様々な行事やイベントなどに参加し、「道民家庭の日」のPR活動に奮闘しています。

### “社会を明るくする運動”メッセージ伝達式に参加しました

道庁ロビーで実施された“社会を明るくする運動”のメッセージ伝達式に、運動イメージキャラクターのホゴちゃんと一緒にほーほーくんが参加しました。

7月は社明運動強調月間、運動の広がりを願い、2人で会場を盛り上げました。

**実施日・場所** 令和4年7月12日(火)・道庁 道民ホール

**参加人数** 約20名(“社会を明るくする運動”北海道推進委員会など)



### 「ほくとくん」「ホゴちゃん」と一緒に合同街頭啓発を実施しました

7月は国が定める「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。毎月実施しているJR札幌駅での「道民家庭の日」街頭啓発を、道警の「ほくとくん」・社明運動の「ホゴちゃん」と一緒に実施し、青少年の被害防止を啓発しました。3キャラクターが登場すると、子ども達や観光客が、握手や記念撮影を求めるなど人気を集めました。

**実施日・場所** 令和4年7月15日(金)・JR札幌駅西口コンコース

**参加機関等** 道、道教委、道警、社明運動北海道推進委員会、育成協



### 夏休みの“ラジオ体操”にほーほーくんがサプライズ登場しました

子ども達の夏休みの朝活である“ラジオ体操”に、ほーほーくんがサプライズで登場し、地域の子も達と一緒に元気に体を動かしました。(表紙参照)

体操が終わると、子ども達は一斉にほーほーくんに駆け寄り、抱きついたり声を掛けたり満面の笑顔が見られ、夏休みの楽しい思い出になってくれたことと思います。

**実施日・場所** 令和4年7月27日(水)・札幌市東区の公園

**参加人数** 約70名(公園近隣の子も達、保護者など)



## 賛助会員のご案内

道内の青少年育成運動を幅広く、力強く推進していくため、当協会の活動に賛同していただける賛助会員を募集しています。現在、普通賛助会員46名・51団体、特別賛助会員142団体、合計239団体・個人の方にご入会いただいています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 会員の種類及び会費

#### (1) 普通賛助会員

個人 一□ 年会費 1,000円

青少年関係団体 一□ 年会費 5,000円

#### (2) 特別賛助会員

法人及び地方公共団体 一□ 年会費 10,000円

賛助会員の皆様には、機関誌や講演録集をお送りします。

## ご入会ありがとうございます

### 令和4年度のご入会者の紹介

【普通賛助会員】

紋別市青少年健全育成推進委員協議会 様

### 優待券の使い方(コピーも可)

●家族ふれあい協賛店や施設にこの優待券をお持ちになると料金の割引や各種サービスが受けられます。

●道民で、18歳未満のお子様を含む家族の方に限ります。(対象人数は各店・各施設で異なります。)

●ご来店・ご来場の際に提出してください。



ホームページのご案内  
アドレス <http://www.ikuseikyo.jp/>

### ほーほーくんの紹介

「道民家庭の日」のイメージキャラクターのほーほーくんは緑色のかわいい子どものフクロウです。

道民の皆様には家族の絆を深めてもらえるよう、「道民家庭の日」のPR活動などで大活躍しています!

発行 令和4年9月

発行者 公益財団法人 北海道青少年育成協会

札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第二道通ビル

TEL 011-231-6451 FAX 011-231-6457

Eメール youth@ikuseikyo.jp



LINEを始めました。  
友達登録をお願いします。

道民家庭の日  
家族ふれあい

# 優待券

優待日  
毎月第3日曜日  
(※営業日などのところもあります。)

2023年3月31日まで有効

公益財団法人 北海道青少年育成協会

育成協

検索